

2017年文系第4問

増田

4 座標平面の原点を $O(0, 0)$ とする。以下の問いに答えよ。(1) 座標平面上の異なる3点 P, Q, R が

$$\vec{OP} \cdot \vec{RQ} + |\vec{OR}|^2 - \vec{OR} \cdot \vec{OQ} = 0$$

を満たしているとする。このとき $\vec{RP} \perp \vec{RQ}$ となることを示せ。(2) 点 Q の座標を $(3, 4)$ とし、点 R は $|\vec{OR}| = 1$ を満たしているとする。さらに、 $|\vec{OP}| \leq 1$ を満たすすべての点 P に対して

$$\vec{OP} \cdot \vec{RQ} + |\vec{OR}|^2 - \vec{OR} \cdot \vec{OQ} \leq 0$$

が成り立っているとする。このとき点 R の座標を求めよ。(1) $|\vec{OR}|^2 = \vec{OR} \cdot \vec{OR}$ を代入して変形

$$\vec{OP} \cdot \vec{RQ} + \vec{OR} \cdot \vec{OR} - \vec{OR} \cdot \vec{OQ} = 0$$

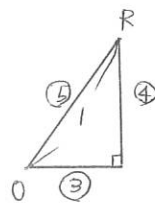
$$\vec{OP} \cdot \vec{RQ} + \vec{OR} \cdot (\underbrace{\vec{OR} - \vec{OQ}}_{\substack{\vec{OR} \\ - \vec{RQ}}}) = 0$$

$$\vec{RQ} \cdot (\vec{OP} - \vec{OR}) = 0$$

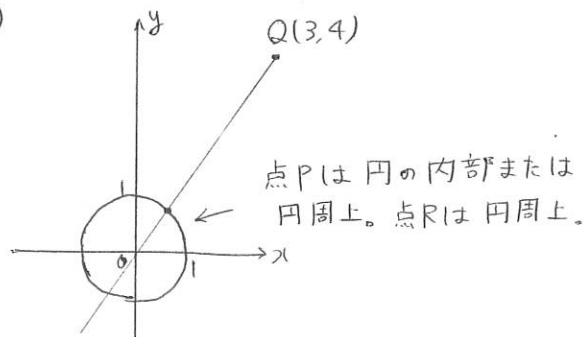
$$\vec{RQ} \cdot \vec{RP} = 0$$

内積がゼロなのでなす角は 90° で、

$$\vec{RP} \perp \vec{RQ} \text{ となる。} \quad \square$$

点 P が半径1の円のどこにあってても \vec{RQ} と \vec{RP} のなす角が 90° より大きくなるのは、点 R が線分 OQ 上にあるときのみ。このとき点 R の座標は、
右図 (3:4:5 の
直角三角形) で考えて点 $R \left(\frac{3}{5}, \frac{4}{5} \right)$ となる。

(2)



$$\vec{OP} \cdot \vec{RQ} + |\vec{OR}|^2 - \vec{OR} \cdot \vec{OQ} \leq 0 \text{ より、}$$

$$\vec{RQ} \cdot \vec{RP} \leq 0$$

ベクトル \vec{RQ} と \vec{RP} のなす角が 90° より大きい。